



認定看護師だよ!



感染性胃腸炎（ノロウイルス感染症）が流行する季節になりました！ 感染管理認定看護師 上土井麻紀

毎年11月頃から翌年の4月にかけて、ノロウイルス感染を原因とするウイルス性の嘔吐・下痢症が流行。乳幼児、高齢者では嘔吐・下痢による脱水症状、窒息、誤嚥性肺炎にて重症化することもあります。

- ・感染経路：接触感染（飛沫感染・空気感染）
- ・潜伏期間：24～48時間（感染すると半分の人が発症するとも）
- ・症状：嘔気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱、
数時間から数日、通常1～2日で回復

【吐物処理方法】

- ①吐物処理セットの準備（物品は揃っていますか？）
- ②汚染場所に人を近づけないようにしましょう。換気も重要です。
- ③个人防护具の着用（使い捨てのマスク、手袋、ガウン等）
- ④嘔吐物の処理・消毒



吐物が飛び散る範囲は吐物の中心から半径約2m、広範囲の消毒が必要。
吐物を集める時や消毒は中心に向かって一方向。消毒方法は、次亜塩素酸ナトリウム、熱処理。

- ⑤个人防护具の脱衣、後片付け（汚染しないように注意しましょう）
- ⑥手指衛生（流水と石けんによる手洗い）
ノロウイルスは手のシワなどに入りやすく洗い落としにくいいため、しっかりと手洗いが重要です。



呼吸回数を測定する意味知っていますか？

救急看護認定看護師 東海林 美貴

生命の危機的状況に陥った患者を救命し、社会復帰に導くためには、「救命の連鎖」が必要となります。

AHA 蘇生ガイドライン 2020 でも提唱されている内容です。

【救命の連鎖】

IHCA



心停止の患者発見後、迅速に一次救命処置を行う事は重要です。しかし、1つめの要素となる「早期認知および予防」で、心停止や呼吸停止となる可能性のある状態を未然に防ぎ、治療を開始する事を強く求められています。

呼吸回数の増加

呼吸回数の増加は急変の予兆、合併症の早期発見のための重要な身体所見と言われています。心停止した患者の70%は**8時間以内**に呼吸器症状の増悪所見を呈しているという報告があります。

しかし、酸素飽和度（SPO2の測定）が簡便にできる事から、呼吸回数の測定が疎かになってしまいがちです。酸素飽和度は正常であっても、身体は低酸素の状態であり、呼吸回数を増やす事で維持している場合もあります。

呼吸回数の測定方法

患者が測定している事を意識しないように観察します。

測定時間は1分間、実測値で測定します。（頻呼吸の場合は30秒でも可）

呼吸の異常 判断に迷う場合

病院ホームページ認定看護師依頼書より「救急看護」へぜひご連絡下さい！